

# 河童倶楽部

晴れでも笑顔、台風でも笑顔!

一般社団法人福島県水泳連盟

会長 壺岐ひろみ

「雨?全然平気です!」  
今年の国体での、選手たちの力強い言葉です。

屋外プールでの大会、「ふくしま」の子供たちは、当たり前のことなので、強気でいました。台風の影響で3日間が2日に短縮され、成人と一緒に泳ぐ子たちも出ました。しかし、その中で、みんな頑張りました。特に少年Bの3人は、見事入賞してくれました。

10日のシンクロから始まり、水球、オープンウォーター、飛込、競泳と、全種目応援することが出来ました。(愛媛県水泳連盟の皆さま大変お世話になりました。)

その中で感じたこと。それは「東北の選手は粘り強い!そして可愛い!」と一言。改めて思いました。

成績は、まだまだ、他プロックにはかないませんが、だからこそ、これからの伸びしろがあるということです。

失敗も、スランプも、みんな、次につながる大事な経験だと、改めて心に強く、言い聞かせました。

まずは、私たちが、「あきらめない努力」を重ねることですね。  
そして、「新しいチャレンジ」を重ねていくことも大切なこと…。

可愛い豆カツパ諸君  
私たち、大人の河童は  
もつともつと みんなに  
『愛』を一杯注ぐからね!  
覚悟して待っていて!



何があっても大丈夫 それが福島魂

## チームふくしまのすばらしさ

県北水泳連盟 青柳俊宏

私たちの念願であった福島県初の公認屋内長水路(郡山開成山屋内水泳場)が7月にオープンし、競技会も開催されています。

私にとっては夢の舞台です。完成に至るまでには、沢山の方々にご尽力を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに感謝したいことがあります。

それは、大会で協力して頂ける沢山の競技役員の方々です。県高校新人大会でも、前々日から準備を進め、数々の困難を乗り越え開催することができました。

郡山開成山屋内水泳場に響きわたるホイッスルの音を聴いたときの感動は、今でも忘れられません。

会場と選手が一体となり、大会を盛りあげることができたのは競技役員の方のおかげです。まさに「チームふくしま!」水泳を愛する沢山の方々に支えられて、肌で実感しました。

決勝で選手が入場するたびに、大会運営に携わった方々への感謝の気持ちで、胸がいっぱいになりました。

「チームふくしま」のすばらしさを感じたのは、これだけではありません。現在南会津に勤務しているのが今年には会津地区の大会に参加させて頂きました。

ここでも、水泳を愛する沢山の方々の選手のために努力されている姿をたくさん見ることができました。

それぞれの地区でもがんばっている方に沢山会うことができ、最高のシーズンでした。  
「チームふくしま」でがんばっている皆さんに感謝して今後も、がんばっていききたいと思います。



リレーエッセイ

## 河童道

えがお  
2017. **愛顔**つなぐ えひめ国体

～君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え～

第72回国体総合成績

天皇杯(男女総合) 39位 18点  
皇后杯(女子総合) 38位 10点

入賞おめでとう!

★ベスト

少年B	岩崎 幹大(高1)		
4位	200m個人メドレー	2:07.51	
	(予選6位)	2:07.67)	
	但野 智哉(高1)		
7位	100m背泳ぎ	58.87 ★	
	(予選8位)	59.13★)	
	安齋 叶空(高1)		
8位	100mバタフライ	56.65	
	(予選6位)	56.40)	

9月14日(木)台風に向けて出発! いやいや愛媛に向けて!でした。台風のコースがどうも直撃ではないだろうか...の不安を抱きつつ東京駅で三浦理事長、山本県中会長と合流。(一昨年の和歌山国体行き折、途中の茨城でゲリラ豪雨に遭遇し、エライ目に遭った私は早めに東京入りしました。ココまで来ればどうにかなる!)

九州関連の飛行機に遅れや欠航が始めていました。が、一路愛媛・松山空港へ。国体はすでに始まっており、シンクロやオープンウオーターに出場が決定していたため、壱岐会長や三浦俊樹事務長はもうすっかり松山の人となっていました。(笑) 長丁場お疲れ様です!

男子競泳予選 ★ベスト

成年	服部 翼(大2)		
22位	100m自由形	51.80	
	寺田 拓末(大2)		
19位	100mバタフライ	54.27	
	加藤 樹(大2)		
20位	200m個人メドレー	2:07.41	
	加藤・安部・寺田・服部		
18位	400mメドレーリレー	3:49.55	
少年A	菊地 奏(高3)		
32位	50m自由形	24.95	
	戸田 和弥(高3)		
21位	100m自由形	52.83★	
	木村 陽太(高3)		
13位	200mバタフライ	2:02.76	
	木村・渡邊・戸田・菊地		
14位	400mメドレーリレー	3:53.55	
少年B	五十嵐 蓮(高1)		
17位	50m自由形	24.80	
24位	100m自由形	55.01	
	五十嵐・但野・吉田・岩崎		
10位	400mフリーリレー	3:35.20	
	但野・五十嵐・安齋・岩崎		
11位	400mメドレーリレー	3:57.85	

そして、私たち3人が到着した頃には競泳日程が大幅に変更され、特別日程での実施が決定していました。3日↓2日。すべての予選は混合で決勝のみ区別するというもの(いわゆる地元でやっている中学校選手権方式)です。中学生と大学生が泳ぐこともあり、同チームの選手が同じ組、ということも。実際に福島県同士のレースもみられました。オリンピック選手の胸を借りて泳ぐというメリットやデメリット、そして決勝進出は全部終わらないとはつきりわからないドキドキ。大風の影響で2日目には雨に濡れながらの観戦で、レースの応援やカメラ撮影や結果の確認等々でなんだか大変なことになっていました。(選手はもっと大変で

女子競泳予選

成年	国分 香奈(大1)		
14位	50m自由形	26.59	
9位	100m自由形	57:37	
少年A	伊藤 理智(高2)		
27位	100m自由形	59.98	
少年B	菅家 綾美(中3)		
13位	100m平泳ぎ	1:13.58	



岩崎選手入場です!

しょうけど途中で電光掲示板がダウンし、タイムしかわからず誰が何秒でどうなっているの...と。今までに台風が接近したことは何度かありましたが、大会日程が変更したのは初めてでした。国体のために長年準備してきたいろいろなところに与えた影響はいかばかりかと考えてしまいました。(大会運営のみならず、経済面での事も含めると...) 大会結果としては、昨年の全中で入賞した岩崎、但野、安齋3選手が決勝へ駒を進めました。昨年「もう少し泳ぎたかったなあ」と言っていた安齋選手はその希望を果たしましたが、結果には納得していなかった様子。来年また頑張ってくださいね。

女子の強化やジュニアの育成も含め課題はいろいろあります。しかし、今まで外プールでしか大会がでなかつた福島勢にとって今大会は真骨頂。寒い状況でこそ本領が発揮できるもの」と末永監督が檄を飛ばしました。うに、今後更に精神的なタフさを身につけた強いチーム福島に育ってほしいと願っています。



雨にも負けず...国分選手

飛込

西川 友章  
15位 成年男子飛板飛込 303.05